

# NEWSLETTER

成田市 国際交流情報誌

8, 2019  
No. 242

成田市国際交流協会



Narita International Friendship Society



## 姉妹都市・米国サンブルノ市から 中学生訪問団が来成

7月2日から9日まで、アメリカの姉妹都市・サンブルノ市から中学生10名と随行員3名からなる訪問団が来成しました。訪問団員たちは、ホームステイの他、市内施設見学、日本文化体験など様々な交流プログラムに参加し、行く先々で歓迎を受け、成田でのおもてなしに感銘していました。

受入れに際して、今年3月にサンブルノ市へ派遣した訪問団の関係者をはじめ、サンブルノ委員会有志、ボランティア通訳の方々に多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

**7月2日** 訪問団到着 市職員、ホストファミリーが空港でお出迎え。  
再会を喜ぶ。

**7月3日** 房総のむら・市長表敬訪問・ホストファミリー対面式・歓迎夕食会

**7月4日** 大慈恩寺にて、座禅、餅つき、スイカ割りなど日本の風物を満喫。午後はNATS(日本自動車大学校)を見学し、レーシングカーのスリリングな試乗体験！

**7月5日** 成田祇園祭に参加。山車を曳いた後は市役所にて市長、うなりくん

**7月6日** 随行員たちは都内エクスカーション。サンブルノ委員会の方々とN'EX(成田エクスプレス)にて都内へ。子供たちはホームステイへ。

**7月7日** 随行員たちは、ホームビジット協会の方々と茶道体験。

**7月8日** 成田市役所、赤坂消防署、玉造中学校を訪問。生徒たちはホストファミリーと最後の一日を過ごす。

**7月9日** 帰国最終日は佐倉市歴史民族博物館を見学。成田空港にて帰国式。別れを惜しみつつ、再会を約束して無事帰途につく。



# サンプルノ・ホストファミリー体験記

## 思い出に残る初めてのホストファミリー

宮澤 雅子

3月末に中学生友好訪問団の派遣員として、成田市の姉妹都市であるサンプルノ市に息子が行きました。初めてのホームステイに期待や不安を抱え飛び立ちましたが、ホストファミリー初め、サンプルノ市の皆様に温かく迎えていただき様々な体験をさせて頂きました。

そして7月に今度はホストファミリーとして中学生2人を受け入れる番です。2人にはそれぞれ宗教やアレルギーで食べられないものがありましたので、外食ではなく家でリクエストのあったお好み焼きやその他てんぷら、厚焼き玉子、味噌汁など日本の家庭料理を楽しんでもらうようにし、彼らも喜んでくれました。

日本での生活体験もしてもらいたいと思い、和室で布団を敷いて寝たり、シャワーだけでなくお風呂にも入ってもらうなどしました。又、それらに必要な事を息子が一生懸命英語で説明している姿は頼もしく見えました。

休みの日は、1日目は室内で楽しめるスポッチャに行き、4人で体を動かしたり、ミニバイクに挑戦したりしました。常に彼らの笑い声が聞こえ距離も近くなったように思います。2日目は2人の希望で秋葉原とキディランドに行きました。日本のアニメのキャラクターが好きだという事で、2人はとても喜んでくれて良かったです。

恥ずかしがってなかなか話せなかった息子も、帰るころには自分から話しかけたり、また会おうねと約束したりと別れを惜しむ姿に、これからもこの関係が続いていけたらいいなと思います。

今回、ホストファミリーとして受け入れができ、息子も家族もとても心に残る経験をさせて頂きました。受け入れに際して、ご尽力頂きました皆様にもお礼申し上げます。

ありがとうございました。



## 貴重な体験がいっぱいだった ホームステイの受け入れ

一山 慶子

娘は、憧れと期待いっぱい、3月サンプルノ市へ中学生友好訪問団の一員として参加させて頂き、7月には、いよいよ待ちに待った二人が我が家にやってきました。

ローレンちゃんとジャスミンちゃんです。とても親しみやすく、素直で優しい子達でした。

こちらからアメリカへ行った時、空港で初めて会った時から、「よろしくね」というような心のこもったプレゼントやメッセージをくれたことがとてもうれしく心強かったようで、日本に来てくれた時も同じように、空港では飲み物やおかしなど、再会した時はミニタオルやポーチなど、サプライズも兼ねてプレゼントとメッセージカードを用意し、渡しながらコミュニケーションをとっていきました。

受け入れる側としては、食べ物に口が合うだろうか、ぐっすり休めるだろうか、など親の私たちは心配ばかりしていましたが、本人達は再会できた喜びだけでとても楽しそうでした。会話は娘の方ができていたのでおまかせし、どうしてもわからない時は携帯のアプリなどを使い、何とか会話を楽しみました。

夜は、疲れて眠そうだったので、21時頃には部屋で休めるようにしました。22時くらいには休んでいるようでしたが、朝は5時くらいから目が覚めて起きているようでした。

食べ物は、手巻き寿司、唐揚げ、うどん、ピザなどにチャレンジして食べてくれましたが、たこ焼きを張り切ったたこ焼き機で作ったのですが、見たことはあったけど食べた事はないとの事で、二人とも1個ずつしか食べていませんでした。そして、思っていたより小食でした。

二日目には、カラオケに行こうということになり、娘と二人は洋楽を歌い、弟は日本の邦楽を歌いましたが、みなノリノリで、カラオケの操作もスラスラできていました。

土曜日は、東京へ車で行き、原宿へ行きました。プリクラを撮ったり、皆の希望で、マメ柴カフェに行きました。そのあと、天気が悪い事もあり、お台場のダイバーシティへ行き、子ども達だけで室内遊園地で楽しんでもらいました。

夜は、もう一人のホームステイ先の渡辺さん宅へ行き、夜ごはんをうちの家族も誘っていただきました。

食後、ジャスミンが持ってきたウノを、みんなでやろうと誘ってくれ、9人でやったのがとても盛り上がり、楽しかったです。

我が家にホームステイした最後の日、日本語と英語で書かれた御礼のお手紙を私宛にいただいた時は、大変驚き感動しました。

ホームステイの一日一日はとっても充実していましたが、思い返せば、あっという間でした。

最後の日、空港で見送った時とても悲しかったけれど、また再会できる日を楽しみにしています。

最後に、この貴重な体験を経験の機会を与えて頂きまして感謝申し上げます。

大変お世話になりました。ありがとうございました。



# 台湾 岳明小学校の子どもたちが来成

## 本城小学校を訪問・祇園祭に参加

7月6日から9日までの間、台湾の宜蘭(イーラン)県立岳明(ユエミン)国民小学校の子どもたち20名が来成しました。一行は、6日に成田山祇園祭に参加し、9日には本城小学校の児童と交流しました。

岳明国民小学校は、台湾北東部の太平洋沿いにある町、宜蘭県蘇澳(スーアオ)鎮(町に相当)にあります。台湾の伝統芸能の伝承や、「ビーチクリーンアップ」に力を注いでいます。その活動中、海岸に漂着した水中カメラを発見し、SNSで持ち主に呼びかけ、沖縄の石垣島で日本の女子大生が紛失したものと判明、持ち主に返還されたいきさつは、広く報道されました。台湾の子どもたちは、祇園祭では山車曳きを体験し、市内小学校では伝統芸の人形劇、「ポテヒ」(布袋戯)を披露してくれました。

今回の相互交流、その詳細を報告します。



あいにくの天気ながら大いににぎわう成田山参道、祇園祭も2日目。午後1時半頃、岳明小学校の子どもたちが成田観光館に集合。用意された法被姿にさっそく着替え、成田山境内に移動。そこにはすでにこれから曳く山車が待っていました。

田町地区の頭に日本語でお辞儀とあいさつ、そして市内の子どもたちに混じってさっそく綱を持って用意。掛け声とお囃子とともに山車引きは威勢よく始まりました。

裏参道をすすみ、幸町の坂道もなんのその、子どもたちは元気よく引っ張ります。上町の三叉路を曲がると表参道の下り坂を巧みに下りて行きます。途中では周りのお店から垂らされたお札に子供たちは大歓声。

信徒会館の前で小休止、田町の皆さんのお囃子と踊りを見学、2時間近くに渡った、初めての山車曳き体験は終了、最初は小ぶりだった雨はいつの間にかあがっていました。

(中澤)

台湾、岳明小学校の一行は、7月9日に成田市立本城小学校を訪問し、児童たちと様々な交流活動を行いました。

岳明小の子たちは台湾の伝統的な人形劇である、「布袋戯(ポテヒ)」を披露し、本城小学校の子たちは、折り紙や竹とんぼ、福笑いなど日本の伝統的なゲームを紹介し、お互いに楽しんで、交流を深めました。

また「漂流カメラ」の物語を披露して、今世界中で問題になっているプラスチックごみなどが海の動物に与える影響などを絵や写真でしめし、海の環境の保護の重要性を訴えました。(塩谷)

台湾的諸位、謝謝。再見吧！

(台湾の皆さんありがとう。また会いましょう！)



### 台湾 宜蘭県 蘇澳鎮の紹介

台北から南西に60kmの位置にある、太平洋沿岸の人口約4万人の港町です。

日本から最も近く(与那国島から100kmあまり)、美しい海岸と漁港、そして珍しい冷鉱泉の温泉で有名です。





## 英会話サロン 参加者募集!

第2回英会話サロンを開催します。講師には、成田市 ALT 3 名をお迎えします。日曜のひと時を、英会話で存分にお楽しみください♪

日時：9月8日(日) 10:30～

会費：500円

会場：ぱん茶屋(上町 551)

講師：Sarah Shimazaki さん他 2 名

定員：15名(会員限定)

申込：協会事務局 (Tel23-3231)

## 語学ボランティア募集(中国語)

成田市伝統芸能まつりでの台湾芸能団体に随行するボランティアを募集します。

日時：9月14日(土) 9:30～21:00

定員：若干名

15日(日) 10:30～16:00

締切：8月末日

16日(月) 8:30～16:00

申込：協会事務局 (Tel23-3231)

## 助成金の申請について

国際交流事業及び友好都市交流事業助成金の申請について、以下のとおり追加申請を受け付けます。助成制度を利用する団体は、下記期間内に必要書類を成田市国際交流協会まで提出してください。

※助成制度の詳細、申請書類等については、事務局(Tel23-3231)までお問い合わせください。

**申請期間：令和元年 8月15日(木)～9月30日(月) 必着**

## 令和元年度会費未納の方へ

会費未納の方は右記銀行口座よりお支払いいただくか、直接事務局窓口へ現金でお支払いください。(銀行振込の場合は振込手数料が自己負担となります。)

未納の方は自動退会となりますので、8月末日までにお支払いをお願いします。

※今年度の支払いの有無の確認は、事務局(Tel23-3231)へお問合せください。

### 【会費】

個人会員：1口 1,000円以上  
学生会員：1口 500円以上  
団体会員：1口 5,000円以上

### 【取扱い金融機関】

千葉銀行 成田支店 普通 2291618  
口座名義：成田市国際交流協会  
理事長 品田 等

### 国際交流カレンダー(8月)

- 6日(火) 広報部会編集会議(市役所/16:30)\*
  - 7日(水) 新初級英会話講座(第2回目)
  - 20日(火) 広報部会校正会議(市役所/16:30)\*
  - 21日(水) 新初級英会話講座(第3回目)
  - 27日(火) 広報部会ツアー(市役所 7:50 出発)
- \*印のついているものはどなたでも参加できます

### 編集後記

今年も成田の夏の風物詩祇園祭が梅雨空の中盛大に行われ、満艦飾の祭り提灯の山車に華やかなお囃子の下座連、揃いの法被にいなせな捻り鉢巻の氏子中が威勢のいい掛け声で街中を練り歩きたいよは夏本番。

広報部会 高橋(記)

ニューズレター(毎月1日発行)

[編集・発行]成田市国際交流協会広報部会(〒286-8585 成田市花崎町760 成田市役所文化国際課内)

Tel:0476-23-3231/Fax:0476-22-4494/E-mail: nifs@ngy.3web.ne.jp

成田 国際交流

検索

再生紙を使用しています



NIFS